

福島支部 令和6年度上期の 事業報告について



協会けんぽ福島支部公式キャラクター **ケンタくん**

■サービス水準の向上：サービススタンダード

KPI

「サービススタンダード」の達成率を100%とする

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
「サービススタンダード」の達成率	100%	100%	100%

令和6年度の進捗状況

- 令和6年9月まで100%達成
- 申請書の管理を徹底しサービススタンダード100%の支給を継続した。
- 平均所要日数 5.59日（令和6年9月末現在）

下期の主な取り組み内容

- 適切な管理のもと、受付から10営業日以内で支給する。
- 支部目標として7営業日での支給をベースとする。

参考：サービススタンダードとは

申請書の受付から給付金の振込までを10営業日以内に完了させることをサービススタンダードとして定めております。

対象となる申請書は、傷病手当金・出産手当金・埋葬料・出産育児一時金です。

■サービス水準の向上：現金給付等の申請にかかる郵送化率

KPI

現金給付等の申請に係る郵送化率を97.2%以上とする

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
現金給付等の申請に係る郵送化率	97.2%以上	97.0%	97.2%

令和6年度の進捗状況

- 令和6年度上期は年度目標に到達せず。
- 各種広報、電話対応時等で加入者へ郵送による提出を勧奨した。

下期の主な取り組み内容

- 各種広報、説明会、電話対応時等で加入者へ郵送による提出を勧奨する。
- 年度末退職者の多い事業所を中心に退職者用任意継続セットを配布する。

■効果的なレセプト点検の推進

KPI

「協会けんぽのレセプト点検の査定率」について対前年度以上とする。

「協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額」を対前年度以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年9月末)	令和5年度実績 (令和5年9月末)
①レセプト点検の査定率	0.210%以上	0.377%	0.198%
②再審査レセプト1件あたりの査定額	11,261円以上	18,988円	10,185円

令和6年度の進捗状況

・査定金額（188,021,520円）①÷請求金額（49,813,421,540円）=0.377% ②÷査定件数（9,902件）=18,988円

下期の主な取り組み内容

- ・ 毎月の全体勉強会にて事例研究（他支部事例含む）や点検方法等の活発な意見交換を行い、効果的な点検を実施する。
- ・ 外部講師を活用し、個々の点検員の医学的なスキルアップを図る。
- ・ 保険診療ルールの疑義案件については、社会保険診療報酬支払基金事務局と十分な協議を行う。協議の結果、疑義が残る案件については、東北審査事務センターに照会や申し入れを行うなどして不合理な審査結果の解消を図る。
- ・ 内容点検効果の高いレセプト（高点数レセプト等）を優先的かつ重点的に審査するなど、効果的かつ効率的なレセプト点検を推進する。

■返納金債権の発生防止のための保険証回収強化

KPI

日本年金機構回収分も含めた「資格喪失後1か月以内の保険証回収率」を84.83%以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
資格喪失後1か月以内の保険証回収率	84.83%以上	84.56%	84.83%

令和6年度の進捗状況

- 84.56%＝回収45,540枚÷回収対象53,854枚
- 未回収者への保険証催告状発送状況（保険証枚数16,212枚）※通知件数は12,639件
- 未回収者への電話催告実施状況（396件）

下期の主な取り組み内容

- 保険証発行停止（令和6年12月）より保険証返納催告業務は終了。以後はオンライン資格確認による無資格受診の発生抑止効果をより向上させるため、事業所からの早期の届出について、日本年金機構と連携し周知広報を実施する。

■債権回収業務の推進

KPI

「返納金債権（診療報酬返還金不当を除く）」の回収率を対前年度以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
返納金債権（診療報酬返還金不当を除く）の回収率	81.35%以上	51.66%	50.06% （※返納金回収率）

令和6年度の進捗状況

- 回収額49,037,315円 ÷ (調定額98,830,213円 - 取消額3,901,306円) = 51.66% ※数値は9月末現在
- 最終催告（内容証明郵便）60件実施
- 法的手続き（支払督促申立）実施なし
- 国保との保険者間調整による債権回収 182件、16,433,667円

下期の主な取り組み内容

- 初回通知時に保険者間調整（国民健康保険等と協会けんぽの間で精算）の案内を同封し、利用促進を図る。
- 引き続き、弁護士名による催告及び最終催告（内容証明郵便）を実施する。
- 事績管理を徹底し、適時債務者に電話催告や訪問催告を積極的に実施する。
- 催告を尽くしてなお未納の高額債権に対しては法的措置を実施する。

■生活習慣病予防健診実施率の向上

KPI

「生活習慣病予防健診」実施率を65.0%以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	区分	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年9月末暫定値)	令和5年度実績 ※今年度からの指標に 合わせた仮実績
「生活習慣病予防健診」実施率（被保険者）	実施率	65.0%以上	30.1%	62.7%
	実施者数	174,737人以上	83,304人	169,897人

令和6年度の進捗状況

- 第4期特定健診・特定保健指導導入に伴うシステム変更の影響で、若干データ収録に遅れあり。前年比▲469人（▲0.02%）
- 県南・相馬・会津地区の受診環境改善のため、集合型バス健診を実施 R6.5～9月 8回 385名（前年比+72名）
- 健診実施機関15機関に未受診・新規適用4,500事業所の受診勧奨業務を委託。72事業所201名より申し込みあり。（前年比+44事業所）
- 小規模事業所に加入の被保険者（前年度未受診者）宛に生活習慣病予防健診の健診案内を送付。R6.8月時点912名受診

下期の主な取り組み内容

- 生活習慣病予防健診実施機関の進捗管理を徹底し、受診率の目標値達成を目指す。
- 県南・相馬・会津地区へ集合型バス健診の実施。稼働率を上げるため、実施機関の予約者数を確認し、適宜リマインド通知を発送。
- 次年度の実施要綱・要領の改訂に関する実施機関会議を開催、契約事務を進める。

■事業者健診データ取得率の向上

KPI

「事業者健診データ」取得率を8.0%以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	区分	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年9月末暫定値)	令和5年度実績
「事業者健診データ」取得率（被保険者）	実施率	8.0%以上	2.9%	6.9%
	実施者数	21,506人以上	7,748人	18,623人

令和6年度の進捗状況

- ・ 健診機関のデータ提供状況を管理し、健診実施月の翌月提供に向け勧奨業務を実施。前年同月▲351件、取得率▲0.1%
- ・ 提供依頼書未取得・新規適用事業所への提供依頼書取得、データ提供勧奨を行うため委託業者と契約を行い、早期の勧奨事業を実施。
- ・ 提供依頼書の取得数増加を目指し、県および労働局との三者連名による勧奨文書を送付。

下期の主な取り組み内容

- ・ 支部において実施機関の進捗管理を徹底し、年度をまたがないように早期のデータ提供勧奨を行う。
- ・ 健診推進経費を活用し、受診月の翌月に報告を行った実施機関へ追加の提供費用の支払いを行う。
- ・ 新たに取得した提供依頼書にもとづき、健診機関からのデータ提供を早期に依頼する。

■ 特定健診受診率の向上

KPI

被扶養者の「特定健診」受診率を29.8%以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	区分	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年9月末暫定値)	令和5年度実績
「特定健診」受診率（被扶養者）	実施率	29.8%以上	11.8%	27.4%
	実施者数	19,292人以上	7,654人	16,247人

令和6年度の進捗状況

- 全国的に特定健診の受診率が低下傾向にあり、福島支部においても各種対策をとったが受診率が低下した。前年同月▲439件、受診率▲0.6%
- 協会けんぽ0円健診において、オプション健診（眼底検査・骨粗しょう症検査）を無料で実施できる会場を設定し検査項目の充実を図った。また前年度稼働率が低かった地域については対象者を増やして案内を送付、さらにリマインド通知を適宜発送し稼働率の増加を図った。
- LINE公式アカウントから0円健診等の情報等を配信。LINEを見て0円健診の申込をする被扶養者も増加。
- 市町村の集団健診後に施設健診を促すダイレクトメールを送付。他に受診機会があることを周知し、受診者の増加を図った。

下期の主な取り組み内容

- 協会けんぽ0円健診の予約の少ない会場に対し、リマインド通知による再勧奨を行い申込者の増加を図る。
- 市町村の集団健診後に施設健診を促すダイレクトメールを送付、他に受診機会があることを周知し、受診者の増加を図る。

■特定保健指導の実施率の向上

KPI

「特定保健指導」の実施率を30.3%（被保険者31.2% / 被扶養者9.3%）以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	加入者区分	区分	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年9月末暫定値)	令和5年度実績
「特定保健指導」の実施率	被保険者	実施率	31.2%以上	10.8%	28.2%
		実施者数	12,185人以上	4,237人	10,204人
	被扶養者	実施率	9.3%以上	4.7%	12.1%
		実施者数	155人以上	78人	188人
	合計	実施率	30.3%以上	10.8%	27.6%
		実施者数	12,340人以上	4,315人	10,392人

令和6年度の進捗状況

- 被保険者について、第4期特定保健指導導入に伴うシステム変更の影響でデータ取り込みが遅れている。実績評価数（直営と合計）前年同月▲422件
- 第4期特定保健指導の推進に向け、委託機関の情報交換会を実施。
- 被扶養者の〇円健診当日の同会場における特定保健指導を共同実施。令和5年度実績に令和4年度実施分が含まれていることから、実績評価数は減少。
実績評価数 前年同月▲27件

下期の主な取り組み内容

- 保健指導データの報告漏れをなくすため実施機関の進捗管理を徹底し、電話等により指導担当者のフォローを行う。
- 〇円健診当日の同会場における特定保健指導の共同実施、及び〇円健診実施機関による特定保健指導の推進。
- 特定保健指導実施機関会議を開催し、健診当日の特定保健指導促進に向け事例紹介やグループワークを実施する。

■重症化予防対策の推進

KPI

「健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者」の割合を対前年度（32.1%）以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	区分	令和6年度目標 (令和5年度健診受診者)	令和5年度健診受診者 勸奨期間 (R5.10~R6.3)	令和4年度健診受診者 勸奨期間 (R4.10~R5.9)
「健診受診月から10か月以内に 医療機関を受診した者」の割合	実施率	32.1%以上	31.9%	8.84%
	受診者数	—	2,555人	672人

令和6年度の進捗状況

- 生活習慣病予防健診実施機関における健診当日の要治療者・要精密検査者に対する受診勧奨を令和6年6月より開始。
- 二次勧奨対象者へ電話による受診勧奨、事業所訪問による受診勧奨事業を実施。二次勧奨対象外の一次勧奨対象者へリマインド通知を実施。
- 生活習慣病予防健診実施機関の健診結果通知に同封する受診勧奨チラシを作成、早期の受診を促す。
- 事業所担当者が活用できる「受診勧奨ツール」を作成し、健康事業所宣言事業所や特定保健指導等で事業所訪問時に配布。

下期の主な取り組み内容

- 生活習慣病予防健診実施機関における健診当日の要治療者・要精密検査者に対する受診勧奨の実施。
- 本部における一次勧奨通知発送から1か月以内に二次勧奨通知、1か月半以内にリマインド通知を送付。
- 特定保健指導と併せた事業所訪問・個別面談による受診勧奨業務を実施、その後の医療機関の受診状況を電話等で確認。

■健康経営（コラボヘルス）

支部目標

「健康事業所宣言」の取り組みの質を向上させるために、支部フォローを強化するとともに宣言事業所の拡大に努める。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
「健康事業所宣言」事業所数	2,220事業所以上	2,104事業所	2,039事業所

令和6年度の進捗状況

令和6年9月末現在2,104事業所（前年同月+116事業所）

- ・「健康事業所宣言」エントリー事業所の取り組み支援として、関係団体によるセミナー講師派遣、並びに委託業者による出前講座を提供。
- ・「健康事業所宣言」事業所を対象に、健康事業の取組の充実を図ることを目的として「血管年齢測定器」（年間150社）、
「骨健康度測定器」（年間50社）、「健康づくりに関するDVD」（15回）の貸出を実施。
- ・ふくしま健康経営優良事業所2024の認定を目指す宣言事業所337社を福島県へ推薦。
- ・事業所の健診結果等の集計から、血圧や肥満度などの健康課題を示し、県内同業態との比較を可視化した「健康度レポート」を2,071社に提供。
- ・「健康事業所宣言」を行っていない事業所に参加を勧奨。（文書勧奨1,451件、うち700件は追って架電勧奨）

下期の主な取り組み内容

- ・健康事業所宣言エントリー事業所の取り組み支援として、関係団体によるセミナー講師派遣、並びに委託業者による出前講座を提供。
- ・上期に引き続き健康づくりに取組む事業所の好事例を取材し、健康事業所宣言だよりに掲載。内容の横展開により健康づくりの底上げを図る。
- ・福島産業保健総合支援センターとの連携によるメンタルヘルスセミナーを開催。

■健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

KPI

全被保険者に占める「健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数」の割合を53.0%以上とする。

健康保険委員が委嘱されている事業所数を対前年度以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績	令和5年度実績
「健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数」の割合	53.0%以上	53.5%	52.6%
健康保険委員が委嘱されている事業所数 (KPI設定は令和6年度～)	前年度以上	4,977事業所	—

令和6年度の進捗状況

- 令和6年9月末 カバー率53.5%（前年同月+1.5%）
- 新規適用事業所へ健康保険委員の文書勧奨を実施。（316件）
- 中規模事業所への文書勧奨を実施。（1,176件）
- ホームページ、メールマガジン及び各種広報紙による勧奨を実施。
- 健康事業所宣言事業と併せた勧奨を実施。

下期の主な取り組み内容

- 新規適用事業所への文書勧奨の実施。
- ホームページ、メールマガジン及び各種広報紙による勧奨を実施。
- 健康事業所宣言事業と併せた勧奨を実施。

■ジェネリック医薬品の使用促進

KPI

「ジェネリック医薬品使用割合」を対前年度以上とする。

令和6年度目標と過年度実績	令和6年度目標	令和6年度上期実績 (令和6年8月診療分)	令和5年度実績
「ジェネリック医薬品使用割合」	85.3%以上	86.7%	85.3%

令和6年度の進捗状況

- 令和6年8月診療分86.7%（前年同月比+2.1%） 参考：全国85.0%

下期の主な取り組み内容

- 浜通り（いわき・相双）の使用割合が低いことから、使用促進を呼びかける動画を作成。いわき駅前の大型ビジョンにて配信（10/30～11/17）。いわき在住者を対象に、ターゲットとなる年齢を絞ってYahoo!広告、WebCM実施（YouTube、TVer）を実施。
- バイオ後続品に関し、県内5つの医療機関を訪問し、普及促進の働きかけを行った。

